

The Aomi Frontier building is in the Aomi area, which is bordered by Tokyo Teleport St. (which connects to Shinjuku in 23 minutes by the Tokyo Rinkai High Speed Railway) and the Symbol Promenade Park Central Square. It features a wide range of businesses and commercial facilities, and is focused on advancing the accumulation of new companies and becoming a center of commerce through [MICE[Meeting, Incentive, Convention, Event/Exhibition]]. Also, just 18 minutes from Shimbashi St., the Telecom Center St. is close to Tokyo Customs, and the Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute, which is a research facility supporting product development for small and mid-sized businesses. Although it is centrally located in the city, this business area has a laid-back feel, and is the focus of a lot of development recently.

# Aomi Frontier Building

青海フロンティア







未来に向かって新たな歩みを進めている臨海副都心。

ウォーターフロントの魅力を最大限に活かした

水辺や緑の空間のなかで職・住・学・遊の機能が複合した

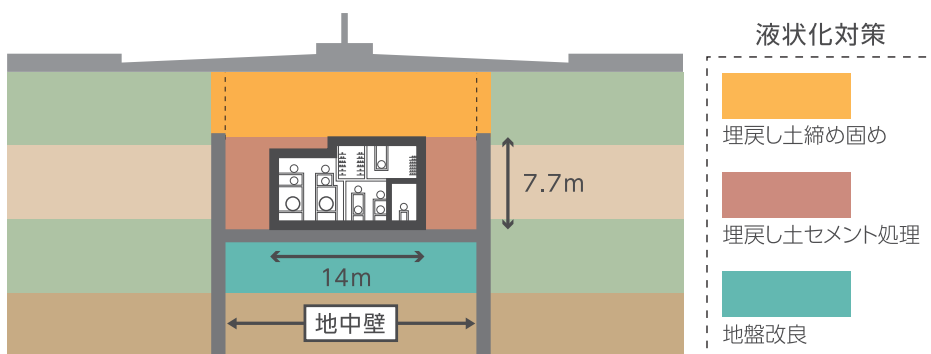
アメニティの高いまちづくりが進められています。



臨海副都心は最先端のインフラを備え、災害に強いまちとして様々な防災対策が施されており、平成24年4月に発表された「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」において予想される最大の津波に対しても、十分な安全性が確保されています。また、先般の東日本大震災においても臨海副都心の建物や施設に大きな損傷をもたらす被害はなく、これまでの防災対策効果が実証されました。

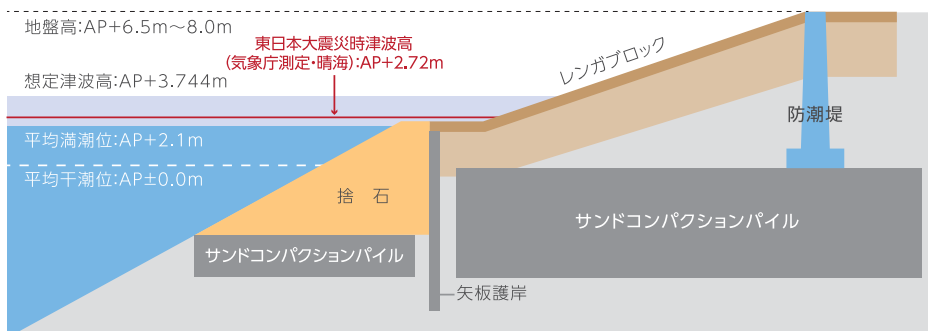
## ■ 共同溝

電気・ガス・上下水道・電話などのライフラインは、安全性・信頼性にすぐれた地下の共同溝内に收容されています。さらに、光ファイバーケーブルにより遠隔監視制御を行い、安全性を確保しています。



## ■ 津波・高潮・液状化対策

臨海副都心は伊勢湾台風級に備えた高潮防潮施設を整備し、予想される最大の津波に対しても十分な安全性が確保されています。さらに締め固め砂坑（サンドコンパクションパイル）などの地盤改良により密度増大を図り、液状化抵抗を増大して対応しています。



AP (Arakawa Peil) …水位観測に用いられる基準水位。AP±0がおおよそ大潮の時の平均潮位となる。  
 サンドコンパクションパイル…液状化や地盤沈下を防止するために締め固めた砂坑を地中に造成して改良した地盤。

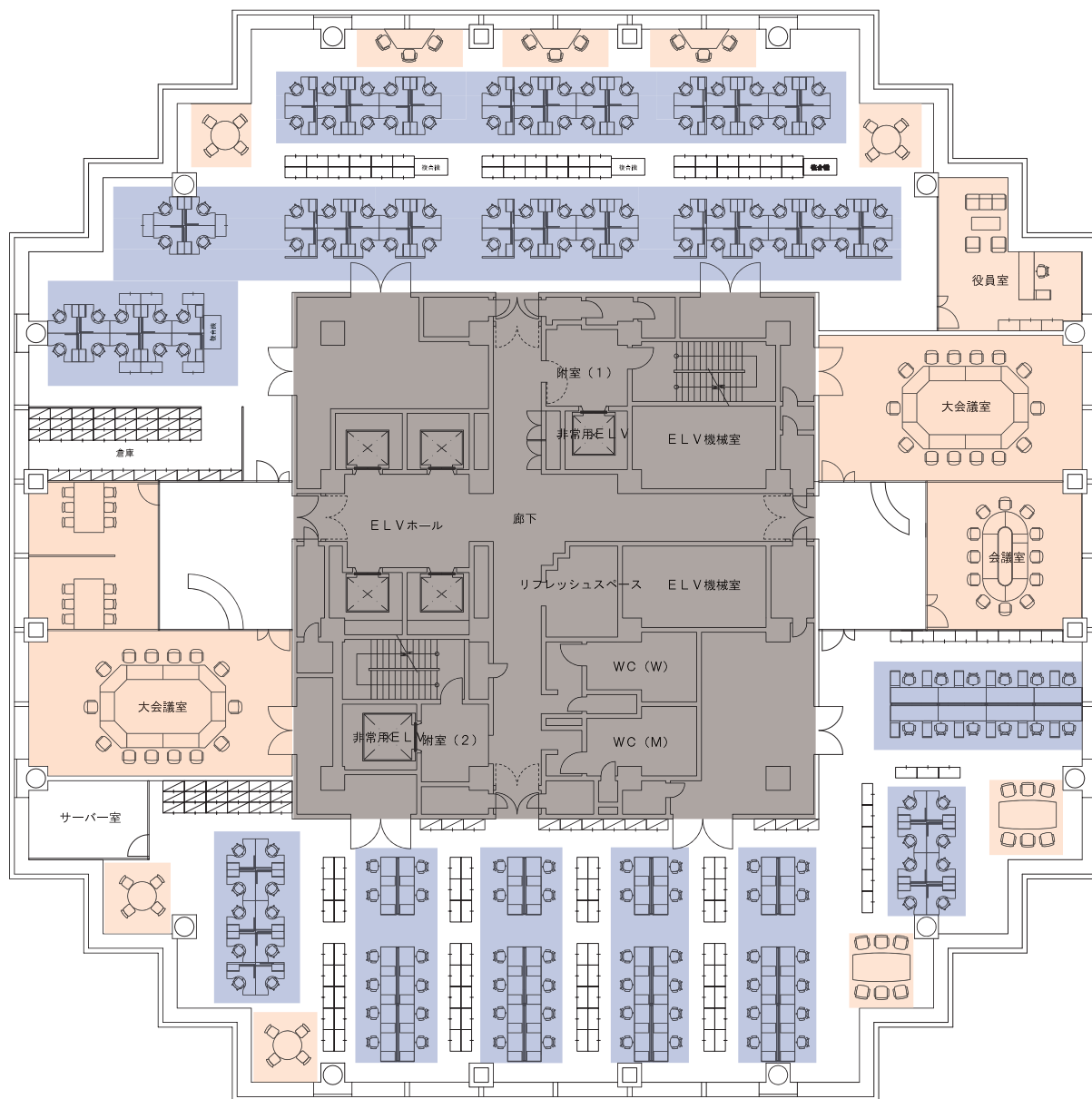
## ■ 建築物の安全対策

臨海副都心内の建築物は耐火構造で、支持地盤まで基礎杭を打設するなど、安全に造られています。また、臨海副都心は大規模な延焼火災のおそれなく、広域的な避難を要しない地区内残留地区となっています。

## ■ 交通の災害対策

臨海副都心のアクセスルートは、道路、鉄道、海上輸送のさまざまなルートが整備、確保されており、地震災害においても孤立化することがありません。ゆりかもめやりんかい線は共に大地震に耐えられるような耐震設計と液状化対策が施されています。

基準階1フロア400坪、空と海に囲まれた明るく開放的なオフィスは4分割対応が可能。



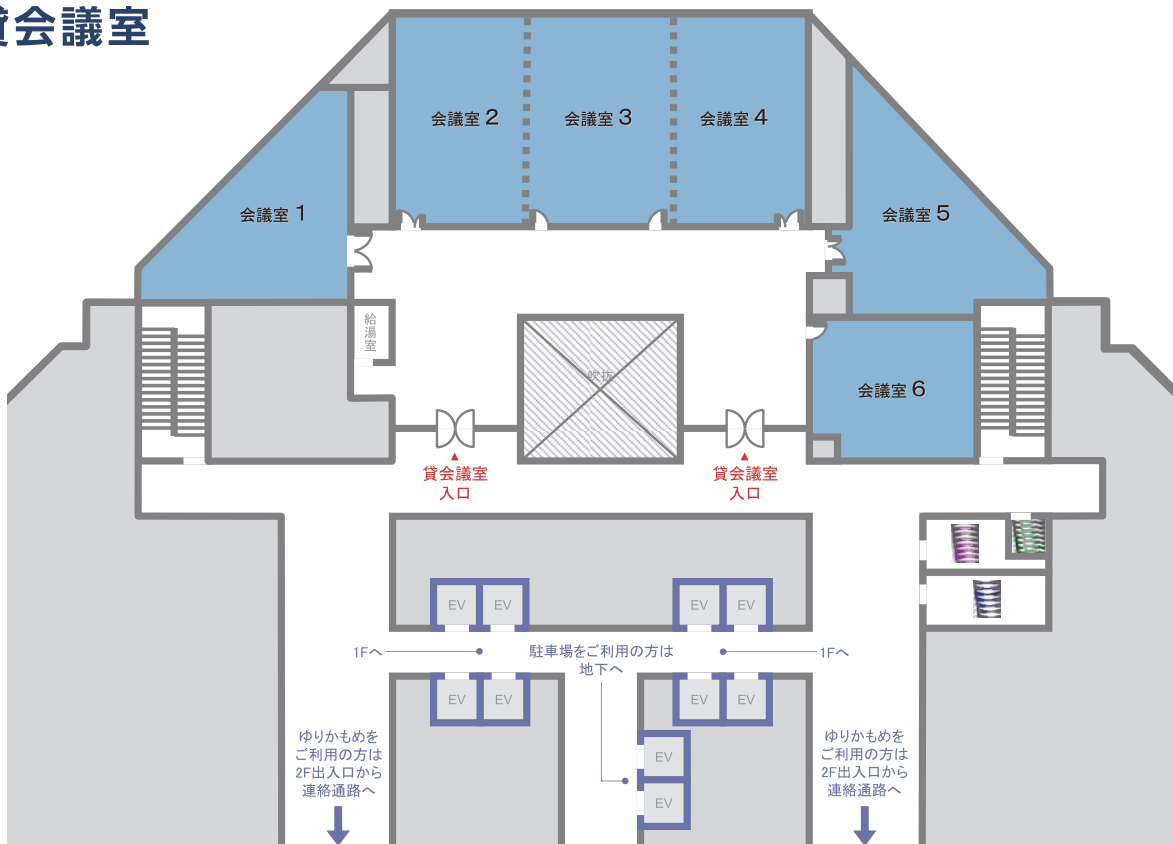
### ■青海フロンティア基準階事務室

専用床面積	1371.42㎡
天井高	2,700mm(タイルカーペット下地から) +OA床(100mm)
床荷重	500kg/㎡(OAフロアは300kg/㎡)
照明設備	レイアウトフリー照明 平均照度 500ルクス以上
電源容量	OA 3相四線100V 50VA/㎡ 照明3相四線240V/40VA/㎡
空調	単一ダクトVAV方式、1フロア4分割対応
入退室管理	非接触型ICカード方式
防犯設備	機械式警備

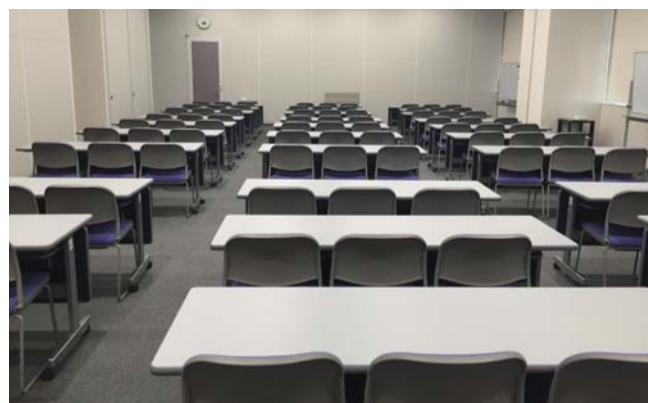


基準階事務室

貸会議室



会議室1



会議室2・3・4

その他設備



コンビニエンス  
ストア



カフェ



自走式180台の  
駐車スペース



無料循環バス

テレコムセンタービル施設(隣接)



レストラン・カフェ  
8店舗



みずほ銀行  
ATM



郵便局



クリニック  
歯医者

## ■ ビル概要

ビル名称	青海フロンティアビル	通信	IDF200回線(基準階1フロア)
所在地	東京都江東区青海二丁目4番24号	空調	セントラル方式、1フロア4分割対応(基準階)
最寄駅	ゆりかもめ「テレコムセンター」駅に直結	防犯	機械警備システム、カード方式による入退室、防災センター24時間体制
敷地	防火地域、工業専用地域 敷地面積7304.53㎡	駐車場	自走式180台(地下1階・2階・3階、高さ制限2.3m)
階数	地上21階 地下3階 塔屋1階	付帯施設	会議室(6室)
構造	地上部鉄骨造・地下部鉄骨鉄筋コンクリート造	ビル入口	7時～22時オープン(時間外は社員通用口対応)
用途	店舗・事務所(1階～2階) 事務所(3階以上/基準階)	竣工	平成8年1月
天井高	2,700mm+OAフロア 100mm(基準階)	周辺施設	日本科学未来館、大江戸温泉物語、産業技術総合研究所、フジテレビ湾岸スタジオ、都立産業技術研究センター
床荷重	500kg/㎡(OAフロアは300kg/㎡)		
電源負荷	50VA/㎡(基準階)		

## ■ 建築・設備概要

建築面積	4,110.26㎡	ガス設備	商業施設の厨房用等に低圧供給
延床面積	54,679.08㎡	管路収集	地域ごみ真空輸送管方式を利用
基準階床面積	1,848.72㎡	冷温熱源	地域冷暖房熱源を利用
専有床面積	1,371.42㎡	空調方式	基準階 1フロア4分割対応 システム空調機+単一ダクトVAV方式 (ペリメーターゾーン 補助空調)
オフィス貸室面積	24,682.87㎡		店舗 冷温水配管給気排気ダクトを1次側施工
商業設備貸室面積	2,429.62㎡	監視制御方式	集中監視、分散制御方式
外装	アルミカーテンウォール 熱線反射ガラス	エレベーター	高層用8台 商業施設用2台 非常用2台 人荷用2台
最高高さ	95.085m	エスカレーター	1F～2F 2台 合計2台
基準階階高	4.05m	消火設備	屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、 連結送水管設備、泡消火設備、CO2消火設備、等
設計監理	(株)安井建築設計事務所	排煙設備	機械排煙(基準階加圧防排煙システム)、 及び自然排煙
施工	清水建設(株)、三井建設(株)、 日本国土開発(株)、大木建設(株)、 東亜建設工業(株)、丸石工業(株)、 建設共同企業体	電気設備	自動火災報知設備、ガス漏れ警報設備、 非常放送設備、非常電話設備、誘導灯設備、 非常照明設備、非常コンセント設備、 防排煙連動制御設備、避雷設備、航空障害灯設備、 無線通信補助設備、等
受変電設備	22kV スポットネットワーク3回線	入退室管理システム	カード方式
非常用電源	ディーゼル発電機1,250kVA 1台	電気設備工事	(株)中電工、新生電業(株)、(株)事業開発社、 建設共同企業体
CVCF	10kVA 主として中央監視用電源および 防災監視用電源	空調・衛生設備工事	新日本空調(株)、トーヨコ理研(株)、 (株)サンプラント、建設共同企業体
照明設備	平均照度 500ルクス以上、 1灯増およびOAルーバー取付可能、 レイアウトフリー照明		
床下配線設備	簡易OAフロア(100mm)配線方式、 大型コンピュータ対応事務所は フリーアクセスフロア(450mm)配線方式、 電源負荷50VA/㎡		
その他設備	拡声放送、駐車場管制		
給水設備	上水、中水、重力式+圧送式		
排水設備	雑排水・厨房排水・汚水排水 分流方式		
中水道設備	地域配水の中水を利用		
給湯設備	中央式+局所式		

お問い合わせ



株式会社 東京テレポートセンター  
TOKYO TELEPORT CENTER INC.

〒135-0064

東京都江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル3階

TEL 03-5500-0086 FAX 03-5500-0091